



報道関係各位



平成 27 年 11 月 27 日

ビール酒造組合

「STOP！ 未成年者飲酒」プロジェクトについて

ビール酒造組合(会長代表理事:水谷 徹)及び会員であるビール5社(サントリービール(株)・アサヒビール(株)・麒麟ビール(株)・サッポロビール(株)・オリオンビール(株))は、未成年者の飲酒防止を目的として平成17年より「STOP！ 未成年者飲酒」プロジェクトを展開してきましたが、本年も春季(4月)に引き続き12月に冬のキャンペーンを実施いたします。

本プロジェクトでは未成年者飲酒防止を呼びかけるメッセージを毎回作成し、全国9エリア(首都圏、中京地区、京阪神地区、四国地区、札幌市、仙台市、広島市、福岡市、那覇市)で発信しております。

また、日本フランチャイズチェーン協会、日本チェーンストア協会、日本ボランティアチェーン協会、日本カラオケボックス協会連合会の協力を得て、各協会の加盟社における店頭、店舗内で未成年者飲酒防止の告知活動を展開してまいります。

毎回キャンペーン後に首都圏・関西圏で効果測定を実施していますが、本年4月の調査でも「STOP！ 未成年者飲酒」キャンペーンの認知度は継続して80%を超えており、確実に成果を挙げております。

■展開メッセージの主旨

未成年者飲酒がいけないことと知りながら、未成年者に飲酒を進め、未成年者飲酒を許容する傾向への警鐘。ありがちな場面を設定し、未成年者自身の言葉としてメッセージを発信。

(メッセージは別紙参照)

■展開内容

<交通広告の実施>

全国8エリア(首都圏、中京地区、京阪神地区、四国地区、札幌市、仙台市、広島市、福岡市)の駅や車内において未成年者飲酒防止のメッセージ告知を行っていきます。

<沖縄での新聞記事出稿・ラジオ番組の利用>

沖縄では地元2紙に出稿。ラジオ放送を通じた訴求も行います。人気のあるパーソナリティーから、未成年者飲酒防止のメッセージを語っていただきます。

<デジタルサイネージ>

新宿駅東口J・ADビジョン、渋谷駅ハチ公改札J・ADビジョンの二か所でメッセージを発信し、飲酒機会の多い時期に若者が集まる場所でのメッセージ発信を実施します。

<スマートフォン上でのバナー広告の実施>

課題となる年代層の利用機会の多いスマートフォンにて、未成年者飲酒防止のためのわかりやすいメッセージを掲載し、なぜ未成年者飲酒がいけないかを、しっかりと伝えていきます。

<コンビニエンスストア業界・スーパーマーケット業界・カラオケボックス業界の協力参加>

「STOP！ 未成年者飲酒」のシンボルマークをデザインしたPOP類を利用し、告知活動に参加していただきます。

【主催】ビール酒造組合

【後援】国税庁 内閣府 厚生労働省



《メッセージ》

本年冬は、未成年者自身が断固として飲酒を断る場面を想定し、『きっぱり、断る。STOP！未成年者飲酒』をキーメッセージとして発信してまいります。

【場面1】サークルの忘年会に出席した未成年男子二人が、成年の先輩からのお酒の誘いをきっぱりと断っているシーン。

『きっぱり、断る。STOP！未成年者飲酒』

ボクたち、

脳や内臓の成長を

ダイナシにするために

忘年会に来たんじゃ

ありません。

【場面2】女子高校生二人が、大人ぶった同年代の友達からのお酒の誘いを毅然として断っているシーン。

甘いアルコールだって、

ウチらの脳やカラダには

めちゃめちゃ

危険なんだから

【場面3】クリスマスのデートの夜、お酒をすすめてきた彼氏に未成年の彼女がきっぱり、ひと言。

ムードに流されて

お酒をすすめてくるなんて

彼氏としてどーなの？

【場面4】体育会バスケットボール部員(未成年)が成年先輩の飲酒の誘いにきっぱりとひと言。

お酒で脳やカラダに

ダメージを受けたら、

プレーまで

悪くなっちゃいそうなんで。

この件に関する問合せ先:

ビール酒造組合 広報担当

東京都中央区銀座 1-16-7 TEL 03(3561)8386 FAX03(3561)8380

ホームページ <http://www.brewers.or.jp>